

## インタビュー



第3回目の今回は、「あぜりあ。どーり」商店会・川端義雄会長と、株式会社中道メディカル・中道朝雄取締役会長、中道健太代表取締役にインタビューしました。



株式会社中道メディカル  
中道朝雄取締役会長

## “断らない対応”が売り!?

インタビューのため訪問すると、工場内には一人の職人さん。「事務所はどちらですか?」と訪ねたところ、とても丁寧に対応してもらった私たちは、部屋に案内され、驚きました。デザイナーさんに依頼されたミーティングルーム。清潔感あふれる部屋にて、インタビュースタート!!



## まず、会社では何をされていますか。

主に、医療機器メーカーが各病院に大型医療機器などを導入する際、その導入に必要な各種調査・設計・施工を行う会社です。

X線機器関連では、血管撮影装置や、CT装置および一般撮影装置を取り扱っています。



## 会社の経営方針で、どのようなところに力を入れていますか。

当然設置や工事には、細心の注意と厳しい設置基準・工事精度が求められます。

また、手術室関連では、无影灯(手術台の上に設置されている大きな照明)は”影ができない照明”として、手術室には欠かせない設備です。

この設置には、手術室内を清潔に保つための空調設備や、麻酔装置やその配管との取り合い調整が必要となります。工場では、実際の機器を購入し、設置練習をしています。

また、搬入の際は患者さんに迷惑のかからないように病院側と打ち合わせをし、音には気をつけ、短納期のためスケジュールは確実に守っています。

設置・補強工事だけではなく、付属する工事にも対応するよう、一式改修工事を行っています。

## 社員の育成・技術の伝承はどうされていますか。

朝はミーティング(打ち合わせ)をしっかりとしたり、医療知識が大事であるため、研修や色んな安全講習会などを受けに行ってもらっています。

## 中道メディカルの想い

限られたマーケット(市場)の中で、僕らの存在価値を生かすために、設置や施工だけではなく、依頼されたことはすべてにおいて対応する。例えできかねることであっても、すぐに断らず、協力ネットワーク(つながり)を通じて何らかの形で対応しサービスにつなげています。各々の会社と情報共有し、チーム一丸になって取り組んでいくような体制にしています。

## 取材を終えて

ミリ単位の繊細な技術が求められる作業でありながら、そのことだけにとらわれず、すべてにおいて対応されています。自社だけでなく広いつながりを持って、お客さまを大切に、一つひとつの丁寧なサービスが、会社の向上につながっていると感じました。インタビューを通じて、自分自身に置き換えると勉強になることばかりですね。



株式会社中道メディカル  
中道健太代表取締役

# 知ってほしい 守口市の いろいろ



あぜりあ・どーり商店会  
川端義雄会長

## まず、商店街の特徴について教えてください。

京阪守口市駅の南側に位置し、駅前の立地から飲食店が多く、不動産業も多いですね。医院や旅行代理店、スーパーやコンビニ、物販店など、ジャンルは多岐に渡ります。昔は三和や富士、関西銀行などもありました。また商店街の中にこども園（保育所）があるのも特徴の一つです。

## 商店街のアピールポイントを教えてください。

最近、どの商店街でもシャッターの下りたシャッター街が懸案になっていますが、あぜりあ・どーり商店会は駅近の好立地条件ということもあり、店舗が空いても、すぐに次の店が入ります。朝や夕方には、こども園（保育所）への送迎途中で保護者が商店街のスーパーで買い物をし、その流れでほかの店にも来ます。夕方からは仕事帰りの会社員や家族連れが気軽に立ち飲みをしたり、食事をするなどにぎわいがあります。ちなみに、あぜりあ・どーりの「。」の意味は、以前あるグループにしていたのを参考にインパクトを狙いました。

## 商店街活性化のために、どのようなこと（イベント）をしていますか。

毎年、サンクスフェスタ（年末ガラガラ抽せん会）を行っています。年に1回だけの開催ですが、賞品を豪華にしていますので好評です。夏の「七夕まつり」のときには協賛して商店会に笹を飾ります。歩道を広く取り、各店舗前もきれいにしています。商店街の交差点には商店会のシンボルにと時計台を設置しました。



商店会のシンボル「時計台」

## 商店街の課題に向けて、これからどのように工夫していこうと考えていますか。

昼は飲食店がシャッターを下ろしていますので、にぎわいがない印象があるのが課題かもしれません。少しずつですがランチ営業をする店舗も出てきていますので、増やしていきたい。近隣には大きなスーパーや百貨店もあるので、行き帰りに寄ってもらえればと考えています。また、飲食店やコンビニにはアルバイトやパートに学生や若い人が多く、活気があります。近所に住む学生の社会経験の場としても考えてもらえるような街づくりを進めたいです。

## 最後に伝えたいことがあれば…

昔と違い、街の風景も一変しました。工場もありましたが、住宅になり介護施設の建物も増えました。安全・安心なまちづくりのために、防犯カメラを増やしていかなければと考えています。商店街には学校の社会見学などで子どもたちが訪れる機会も増えました。商店会と地域・学校のつながりも大切にしていきたいですね。

## 取材を終えて

駅前ということで、人の流れが多い商店街です。また、商店街の真ん中を路線バスが走るというユニークさもあります。範囲が広く、飲食店や物販店のほかに住宅も混在していますが、街並みを美しくする取り組みを実践されています。

「昼夜を問わず商店街を活性化させるんだ」との会長の意気込みが伝わってきました。ふらっと駅前を訪れた時には立ち寄ってみてください。バスの車窓から見る商店街は、また違った発見ができるかもしれませんね。

